

平成28年度 第5回豊能町教育委員会会議（8月定例会）会議録

日 時： 平成28年8月22日（月）午後4時～

場 所： 豊能町役場（2階）大会議室

出席者： 教育長 石塚 謙二
教育委員 岸本 恵子（教育長職務代理）
教育委員 太田 佳子
教育委員 川村 新
教育委員 宮崎 純光
事務局： 教育次長 板倉 忠
教育総務課長 塩山 博之
教育支援課長 小田 恵美子
生涯学習課長 小嶋 均
教育支援課子ども支援室長 川西 弥生
教育総務課課長補佐 入江 太志
教育総務課主査 奥 文彦

傍聴者：1名

会議次第

1. 議長（教育長）あいさつ
2. 各課、室の報告について

開会 午後4時

1. 議長（教育長）あいさつ

議 長：本日の出席者は5名である。過半数に達しているので、ただいまから8月度の定例会を開会する。会議録署名人を岸本教育長職務代理にお願いする。

2. 議 事

議 長：本日は、前回会議以降の各課・室の報告を議題とする。
順次、事務局より報告を求める。

事務局：○町村教育委員会連絡協議会夏季研修会について

議 長：研修は8月18日に田尻町で行われ、私と委員1名、事務局2名が参加した。

委員：研修内容は、講演と施設見学があり、講演は「大阪府の子どもの体力向上に向けた体育授業の創造」と題して、大阪府内の子どもの体力の現状について述べられた。

近年、子どもの体力が低下している原因として3つの「間」、「時間」「空間」「仲間」が不足していることを挙げられた。また、スクールバスを取り入れている学校では、運動不足により体力が低下しているという事例もあった。一方で、親が体を動かす遊びにつきあってくれないという子どもの意見も挙げられた。

次に視察として、田尻漁港の取り組みを紹介していただいた。関西国際空港開港により漁獲量が減少し、漁業組合として打開策を練ったがうまくいかず、外部の意見を取り入れることにより、漁業だけに依存しない港として活気を取り戻したとのことであった。

議長：20年ほど前は、子どもは1日に2万8千歩歩いていたそうである。現在は半分以下となってきた。そうになると、少なくなった運動体験の質を高める必要がある。本町では幼稚園、保育所で運動について研修、研究を進めているので、小、中学校につながるならばよいと思っている。

田尻漁港については、それまで漁業を生業としてきた方たちが、漁獲量減少により漁業以外の取り組みをすることとなり、困難なことではあるが、今後の生計のため、常識にとらわれることなく取り組んだとのことであった。

委員：豊能町は退職された方も含めて、町外に働きに出られている方が多く、いろいろな世界を見てこられた方の拠点であり、皆さん多様な意見をお持ちである。田尻漁港では外部の意見を取り入れたとのことだが、豊能町においても意見を受け入れる環境づくりが大切なのではないか。

委員：切羽詰まった状況でもなかなか他の意見を受け入れられないものであるが、田尻漁港は柔軟に受け入れて取り組まれていると思う。本町では小中一貫教育に関してもっと外部の意見を聞き、それを吸収して動いていかなければならないと思う。

議長：引き続き事務局各課・室の報告を求める。

事務局：○町議会8月臨時会の報告について

○教育委員会だよりについて

○教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について

○豊能地区教員採用選考2次選考について

○新外国語指導助手（ALT）の就任について

○教職員夏季研修会について

○「本のソムリエ」認定講習会、審査会について

○全国学力・学習状況調査の結果について

- 保幼小中一貫教育推進会議全体会について
- 幼児教育・保育の充実における研修会について
- 子育て支援センター事業「赤ちゃんと中学生の一緒に遊ぼう」について
- 「育児の日」報告について
- 夏休み公民館子ども教室について
- スポーツセンターシート指定管理者の選定について

議長：教員採用選考2次選考の倍率が上がっているのは良い人材が多かったのか。

事務局：採用審査会で1次合格判定基準を設けているが、2次選考に残っている者が多くても採用予定枠があるので、多く採用できるわけではない。また、教科により人数のばらつきもある。大阪府という大きな規模ではなく、豊能地区の規模で採用するので、この点が課題ではある。ただし、あくまで豊能地区で教員になりたいという希望を持った受験者が多い傾向にある。

委員：吉川小学校の耐震補強工事の進捗は。

事務局：校舎については9月、体育館については10月で概ね完了する予定である。

委員：夏季研修会のアンケートについて地域の方の意見は。

事務局：小中一貫教育は学校統廃合のためとの認識だったが、研修会の講演を受けて、小中一貫教育の意義が違う視点にあることが理解できた、という意見が多かった。

委員：文部科学省より小中一貫教育についてのガイドラインが出たと聞いたが。

事務局：ガイドラインとしては現在発出されていないが、義務教育学校も制度化されたことにより、平成32年、33年の新学習指導要領においてその点を加味した改訂があるのではないかと思われる。

委員：小中一貫教育の講演会において、15歳の時点でこのように育ってほしい、さらには選挙権を得る18歳ではこうあってほしい、という姿から逆算してカリキュラムを構築すべきということに共感したが、豊能町においても、学習で知識を得るだけでなく、その知識を実地体験に基づいて活用できるような、豊能町で育った子はこうあってほしい、というカリキュラムを構築したいと思う。

事務局：15歳の義務教育終了時だけに着目せず、学んだことを成人してから社会でどう生かすかという視点も重要であり、現在、あり方を検討しているところである。

議 長：夏休み期間中は、公民館来館者は増加するのか。

事務局：集計はしていないが、おおよそ通常より1割程度増加する。

議 長：幼児教育で投げる力が弱いとのことだが。

事務局：保育において、例えば川遊びに行った際、安全を確認したうえで、河原の石を目標に向かって投げるという遊びも取り入れたりして、投げる機会を増やす工夫もしている。

議 長：報告は以上である。これで本日の日程は終了でした。

次回以降の教育委員会会議の日程は9月度、9月28日（水）午前9時30分開催予定とする。これで本日の教育委員会会議を閉会する。

閉会 午後5時10分

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成 28 年 9 月 28 日 署名

豊能町教育長

石塚 謙二

会議録署名人

岸本 恵子